



## FAA 地上走行に関する用語、方式を変更

### Notice : Taxi and Ground Movement Operations

#### 1. Notice での発表

FAA(米連邦航空局)は6月30日付で Notice N JO 7110.532 を発行し Air Traffic Control, JO 7110.65 (米国管制方式基準) の Paragraph 3-7-2 Taxi and Ground Movement Operations の用語、方式を大幅に変更することを発表しました。この文書は管制官に向けたもので、7110.65 の改定という形を取らず、Notice で当該部分を読み替えるという異例の形となっています。

AIM (Aeronautical Information Manual) の記述はまだ変更されておらず、変更が徹底されるには少し時間がかかるかと思われます。

#### 2. TAXI TO という用語での滑走路横断許可は廃止

今までの定義では“Fast Air 567, taxi to Runway 28L via M, L, F.”と言われれば、28Lに至る途中の滑走路は何本あっても横断することができ、滑走路 28L の手前で待機することとなっていました。今回の Notice ではこの箇所が削除されました。管制官は地上走行の目的地、離陸の場合は離陸滑走路を言ったのち、経路を指定します。指定された経路に交差する途中の誘導路は横切れますが、滑走路は別途許可がなければ絶対に横断してはならないとされています。

**“Quickjet 345 Runway 36L, taxi via Taxiway A, hold short of Taxiway C.”**

**“Quickjet 345 Runway 36L, taxi via Taxiway B, hold short of Runway 27R.”**

#### 3. 途中に何本かの滑走路がある場合は

個々の滑走路ごとに横断の許可が出されます。しかも1本の滑走路横断を管制官が確認したのち、次の滑走路横断の許可を出すという念の入れ方です。

ここで滑走路とは active, inactive or closed runways と書いてあり、その日の飛行場運用で使われていないとか、NOTAM に Closed と出ている、必ず横断の許可が必要となっています。

**“Quickjet 345 cross Runway 16L, hold short of Runway 16R.”**

(次頁へ続く)



しかし例外として、滑走路中心線間の地上走行距離が 1,000 ft 未満の箇所について FAA Terminal Service Director of Operations が認めた場合は、複数の滑走路横断の許可が出されることもあります。

**“Fast Air 567, Runway 28R, taxi via Taxiway M,L,F, hold short of Runway 1L”**

**“Fast Air 567, cross Runway 1L and 1R, hold short of Runway 28L.”**

(San Francisco をイメージした例です。この場合 Runway 1L と 1R の中心線間隔は約 800 ft で、Taxiway M は 1L/1R と直交しており、地上走行距離も約 800 ft ですので 2 本まとめて横断許可が出る可能性があります。浅い角度で滑走路と交差する Taxiway H は地上走行距離が 1,000 ft を超えるので 2 本を横断する許可をまとめて出すことは認められません)。

#### 4. FOLLOW の用語による許可

特定の航空機または車両に追従して走行する許可が出される場合、FOLLOW の用語が用いられますが、これは、先行機または車両が滑走路を横断したからといって、それを追って滑走路横断を許可するものではありません。必ず滑走路手前で待機または滑走路横断の許可が加えられます。

**“Quickjet 345 follow company BoeBUS 80, hold short of Runway 27R.”**

**“Quickjet 345 follow Otherline BoeBUS 95, cross Runway 27R, hold short of 27L.”**

#### 5. 推奨されている事項

- a) 今回の変更は明白に大きなものです。したがって新しい方式に慣れるまではパイロット、管制官ともに混乱が生じることは考えられます。疑問が生じたときは「止まって、聞く」の原則を守ってください。
- b) 個々の滑走路を横断する許可がない場合は、必ずその手前で待機してください。
- c) 常に Stop Bar に従ってください。Stop Bar が停止を表示している場合、管制官により横断許可が出ていても、先に進まず、停止したのち管制官に聞き直してください。
- d) FAA Runway Safety web 頁に更なる情報があります。ご参照ください。

[www.faa.gov/airports/runway\\_safety/news/current\\_events/taxi\\_to/](http://www.faa.gov/airports/runway_safety/news/current_events/taxi_to/)

(注) 日乗連ホームページ IFALPA SAFETY BULLETIN 2010.6.30.に Safety Bulletin 原文を掲載しました。このニュースは、それに N JO 7110.532 の内容を加味したものです。

(以上)

# AIRPORT DIAGRAM

SAN FRANCISCO INTL (SFO)  
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA

AL-375 (FAA)

ATIS  
113.7 115.8  
118.85 135.45  
SAN FRANCISCO TOWER  
120.5 269.1  
GND CON  
121.8  
CLNC DEL  
118.2

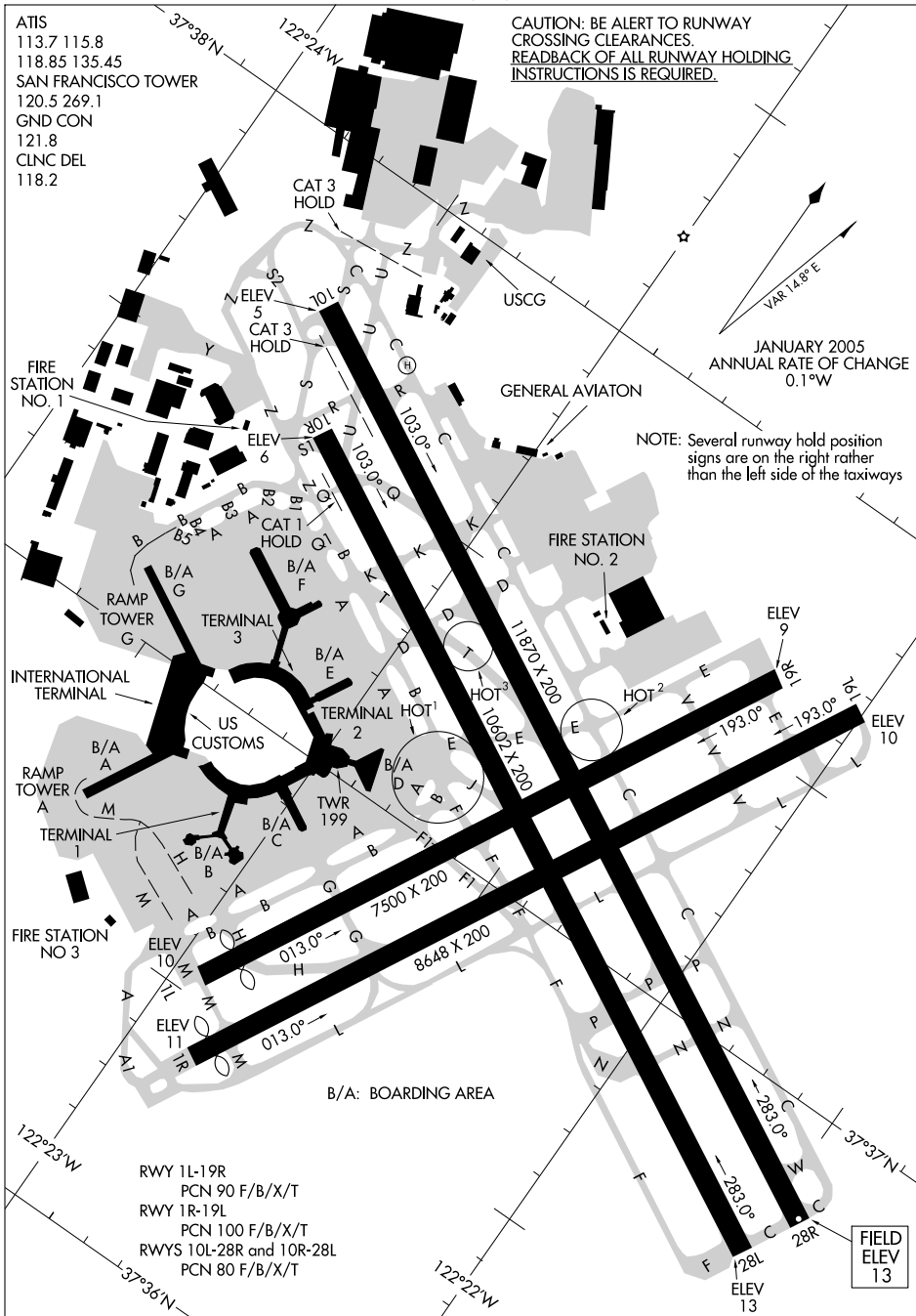
CAUTION: BE ALERT TO RUNWAY  
CROSSING CLEARANCES.  
READEBACK OF ALL RUNWAY HOLDING  
INSTRUCTIONS IS REQUIRED.

JANUARY 2005  
ANNUAL RATE OF CHANGE  
0.1°W

NOTE: Several runway hold position  
signs are on the right rather  
than the left side of the taxiways

SW-2, 03 JUN 2010 to 01 JUL 2010

SW-2, 03 JUN 2010 to 01 JUL 2010



B/A: BOARDING AREA

RWY 1L-19R  
PCN 90 F/B/X/T  
RWY 1R-19L  
PCN 100 F/B/X/T  
RWYS 10L-28R and 10R-28L  
PCN 80 F/B/X/T

FIELD  
ELEV  
13

# AIRPORT DIAGRAM

SAN FRANCISCO, CALIFORNIA  
SAN FRANCISCO INTL (SFO)